

令和6～7年度入学者

サステイナブル資源科学教育コース

科目区分	コア科目	アドバンス科目	課題プロジェクト演習科目	演習科目	特別研究科目
再掲は薄色で表示	コア科目	アドバンス科目	課題プロジェクト演習科目	演習科目	特別研究科目

学修目標			修士 1 年				修士 2 年				博士 1 年				博士 2 年				博士 3 年			
区分	修士課程	学修目標（博士課程）	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
D 実践	D-2.複眼的な視点を有し、多様な問題解決法を提案することができる。	D-2.複眼的な視点を有し、多様かつ斬新な問題解決法を提案することができる。	サスティナブル資源科学(1)		生物資源環境科学特論(1)						国際演示技法(2)											
	D-1.学際的知識を社会に還元する意欲を有する。	D-1.先進的・学際的な知識を社会に還元する能力を有する。	サスティナブル資源科学(1)		生物資源環境科学特論(1)						サスティナブル資源科学特別演習(5)											
			サスティナブル資源科学特別研究第一(2)		サスティナブル資源科学特別研究第一(2)	サスティナブル資源科学特別研究第一(2)	サスティナブル資源科学特別研究第二(2)		サスティナブル資源科学特別研究第二(2)	サスティナブル資源科学特別研究第二(2)	サスティナブル資源科学特別実験(2)											
	C-2. 現代科学、特にサスティナブル資源科学の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・化学・物理学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	C-2.現代科学、特にサスティナブル資源科学の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・化学・物理学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発、実問題の発見・解決、及び新分野の開拓に利用できる。	サスティナブル資源科学ティーチング演習(2)										ティーチング演習(2)									
			サスティナブル資源科学プロジェクト演習(1)		サスティナブル資源科学プロジェクト演習(1)						サスティナブル資源科学特別演習(5)											
C-2 統合・創造能力（評価・創造）					サスティナブル資源科学演習第一(1)	サスティナブル資源科学演習第一(1)				サスティナブル資源科学演習第二(1)	サスティナブル資源科学演習第二(1)											
			木質の形成と利用(1)																			
	C-1-2.実験や計算の結果を解析・評価して、第三者評価に耐える形で解説できる。	C-1-1.実験や計算の結果を解析・評価して、第三者に評価される形で解説できる。	演示技法I,II(1,1)										演示技法I,II(1,1)									
			国際演示技法(2)										国際演示技法(2)									
	C-1-1.生物学・化学・物理学・数式を業務に必要なレベルで理解し、新規の開拓に利用できる。	C-1-2.生物学・化学・物理学・数式を業務に必要なレベルで理解し、新分野の開拓に利用できる。					サスティナブル資源科学特別研究第二(2)		サスティナブル資源科学特別研究第二(2)	サスティナブル資源科学特別研究第二(2)	サスティナブル資源科学特別実験(2)											
B 知識・理解	B-3.物理学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。	B.物理学・化学・生物学に関する基礎的・専門的知識について、新分野の開拓に活用できる程度に深く理解し、説明することができる。	木質理科学特論(1)			木質材料工学特論(1)						サスティナブル資源科学特別講義(5)										
	B-2.化学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。		生物材料設計学(1)		森林バイオマ科学(1)	生体物質化学(1)																
			サスティナブル資源科学特論第一(1, 隔年)																			
			サスティナブル資源科学特論第二(1, 隔年)																			
			サスティナブル資源科学特論(E科目, 1, 隔年)																			
	B-1.生物学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。				森林バイオマ科学(1)																	
	A 主体的な学び・協働	A-2.自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力を涵養し、周囲と協調し、共同して問題解決にあたることができる。	A-2.自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力、教育力、指導力を涵養し、リーダーとして問題解決にあたることができる。	サスティナブル資源科学プロジェクト演習(1)		サスティナブル資源科学プロジェクト演習(1)						プロジェクト演習(2)										
			演示技法I,II(1,1)										国際演示技法(2)									
			インターンシップ(1)										インターンシップ(2)									
A-1.自然科学、特に森林環境に関わる非専門領域を含む幅広い学問分野に関心を持って、自ら進んで問題に取り組む、解決し、新分野の開拓に貢献することができる。		A-1.自然科学、特に森林環境に関わる非専門領域を含む幅広い学問分野に関心を持って、自ら進んで問題に取り組む、解決し、新分野の開拓に貢献することができる。	国際交流演習I,II,III,IV(1,1,1,1)										国際交流演習I,II,III,IV(1,1,1,1)									
			サスティナブル資源科学(1)											サスティナブル資源科学特別講義(5)								
区分	修士課程	博士課程	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
学修目標			修士 1 年				修士 2 年				博士 1 年				博士 2 年				博士 3 年			
課程の時期区分																						
アセスメント・プラン			修士論文発表の際、学生のアンケート調査による「学生の自己評価」と指導教員の「評価」をつきあわせ、学生の学習到達学修目標の達成度を判定										博士論文発表の際、学生のアンケート調査による「学生の自己評価」と指導教員の「評価」をつきあわせ、学生の学習到達学修目標の達成度を判定									